

88HOUSE ORIGINAL PARTS

ジャンプスターター ITO-32000 保証書・取扱説明書

<注意>

・保証を受ける時はこの取扱説明書兼保証書が必要になりますので大切に保管してください。保証書無き場合は一切の保証が受けられなくなるので、ご了承ください。

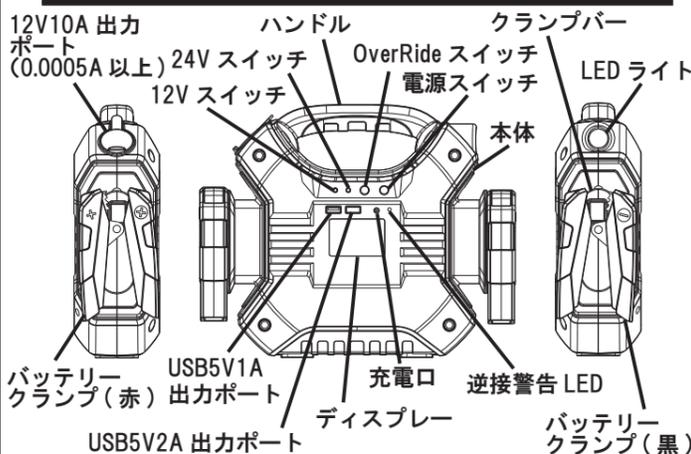
<お客様へ>

・ご使用前、安全に正しくお使いいただく為に必ず「取扱・取付説明書」をよくお読みになってください。
・お読みになられた後も、必ず必要になる時がありますので、「取扱・取付説明書」は大切に保管してください。

ご使用前に、ご確認ください！

・パッケージから出して最初にお使いになる時は、満充電にしてから使用してください。
・使い終わった後は、バッテリークランプをクランプバーに止め通電を OFF にした状態で保管してください。
・40% までのスタートはカバーしていますが下回ってしまうと必ず故障し、寿命も短くなります。取扱説明書では余裕をみて 60% 以上からのスタートで説明しています。

各部の名称と構成



ディスプレイについて

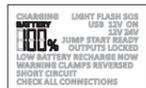
1) 本体の電源スイッチを押すと、ディスプレイに「BATTERY」が表示されます。
2) 同時に以下の内容も表示され、本体の充電状態を確認することができます。
→その他の表示については裏面をご覧ください。



ディスプレイ表示	内容
100%	満充電 (100%) を表しています。
数字+%	電気の残量を % で表しています。
BATTERY LOW RECHARGE NOW	本体の電気が少ない状態で、充電が必要です。

充電方法

- 1) 付属の充電器をコンセントに差し込んでください。
- 2) もう片側は本体の「充電口」に差し込んでください。
- 3) ディスプレーに「CHARGING」が表示され充電が始まります。
- 4) 充電が完了すると、ディスプレイの表示が消え終了します。
- 5) 充電器を本体から外して保管してください。



<注意>

充電に関して下記の故障は保証対象外となります。
・ケーブルに足が引っ掛からない場所を選んで充電を行ってください。ケーブルに足を引っ掛け、急な引っ張りによる破損は保証対象外となります。

LED ライトの使用方法

- 1) 電源スイッチを押して電源を入れます。
- 2) さらに電源スイッチを長押しすることで LED ライトが点灯します。
- 3) LED ライトが点灯している状態で電源スイッチを 1 回押すと点滅し、その次に 1 回押すと SOS 信号点滅、その次にもう 1 回押すと消灯します。

※ LED ランプは点灯→点滅→SOS 信号点滅→消灯の順です。



用品に給電する方法

- 1) 用品に合うプラグやケーブルを選んでください。
- 2) 電源スイッチを押して「USB 12V ON」と表示され給電が始まっている事を確認してください。
- 3) 用品に合わせて各ポートにケーブルを接続してください。
- 4) 電気が必要なくなると本体は自動的にオフになります。

※最低消費電力：0.005A 以上です。それ以下は 30 秒で電源を落とし自動的に OFF になります。
◎ USB の場合
用品に合わせて「USB5V/1A ポート」または「USB5V/2A ポート」にケーブルを接続してください。
◎ 12V カー用品の場合
「12V/10A ポート」は最大 10A を超え無い様にする為、機器のアンペアを確認してください。確認後ポートに機器を接続してください。



24V 車へ接続する時の注意

◎ 24V 車は特殊なケース以外をのぞいて 12V のバッテリーを 2 個つなげています。バッテリーターミナルへのバッテリークランプへの接続は写真の様に接続してください。
◎ 車両によりバッテリーの配列やターミナルの接続はいろいろな種類があるので注意してください。



12V バッテリー 2 個で 24V

エンジンスタート (12V、24V)

- スタートさせる前に必ず取説の他の項目も良くお読みください。
- 12V 車も 24V 車も次の手順でエンジンスタートを行ってください。

- ① 車両のイグニッションを OFF にしエアコンやアクセサリがスタート状態で全て OFF になることを確認してください。
- ② 電源を入れ電気の容量が 60% 以上あることを確認してください。
- ③ バッテリークランプ (赤、黒) を車両のバッテリーターミナルに接続してください。



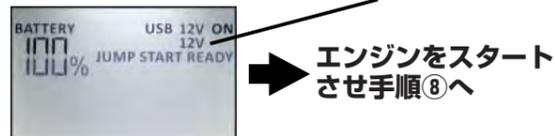
④ 注意！

● LED が点灯して音が鳴ったときはプラス、マイナスを逆に接続しています！クランプを直ぐに外してプラスマイナスを付け替えて下さい！



⑤ ディスプレーの表示に従ってください。

● 12V 車、24V 車で
「12V または 24V JUMP START READY」が表示された場合はそのままエンジンをスタートさせて手順⑧へ進んで下さい。
12V または 24V を確認



JUMP START READY が目的の V (ボルト) だった場合はそのままエンジンをスタートさせて下さい。

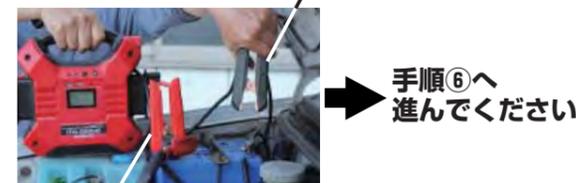
● 12V 車で
12V が点滅したときは「Over Ride」スイッチを 1 回押ししてから「12V スイッチ」を長押しし「JUMP START READY」を表示させ 60 秒以内にエンジンをスタートさせて手順⑧へ進んで下さい。



- 下記 3 つの場合はマイナスクランプ (黒) だけを外し手順⑥へ進んでください。
・ 24V 車で「12V JUMP START READY」が表示された場合
・ 24V 車で 12V が点滅した場合
・ 12V 車、24V 車でディスプレイに反応が無い場合

注意：プラスクランプ (赤) は絶対に外さないでください！もし外してしまった場合は逆接続防止のため手順③からやり直してください。

3 つの場合に当てはまる時はマイナスクランプ (黒) だけを外して次の手順を行ってください。



プラスクランプ (赤) は絶対に外さないでください！

⑥ 電源スイッチを押してから「Over Ride」スイッチを 1 回押し使いたい電圧 12V または 24V のスイッチを長押しして「JUMP START READY」が表示されるのを確認してください。

注意：間違った電圧でスタートさせると車両のバッテリーが沸騰し使用できなくなります。電圧は間違えが無いことを再度確認するようにしてください。

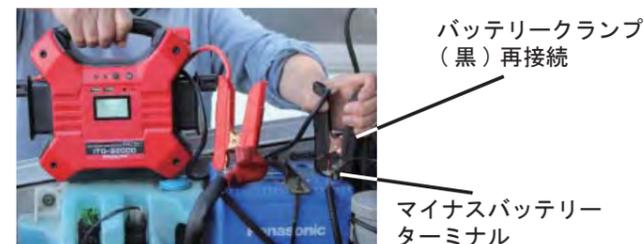


JUMP START READY の表示を確認



直ぐに手順⑦へ進んでください

⑦ 直ぐにマイナスクランプ黒を車両のマイナスターミナルに再接続して 60 秒以内にエンジンをスタートしてください。



60 秒以内にエンジンスター

⑧ エンジンがスタートしたら直ぐにマイナスクランプ (黒) から外してください。

警告

以下の内容で故障、災害が起きても保証対象外なのでご注意下さい

※クランプをはさむ時は面積を大きく取って下さい。面積が小さいと異常発熱が起こりクランプ、基板、バッテリーが破損します。

歯全体をターミナルに当てる



保証対象外



くわえる面積が小さいと発熱し故障します。

面積を大きく取り発熱を抑えてください。

諸元表

寸法：292mm × 233mm × 79mm

重量：2700 g

容量：32000mAh

出力：12V/ エンジンスタート用、24V/ エンジンスタート用、USB/5V/2.1A、USB/5V/1A、12V/10A(0.005A 以上)

入力：15V/1A

充電：100%充電：約7時間(0パーセントから)

スタート電流：12V-600A 24V-300A

ピーク電流：12V-1200A 24V-600A

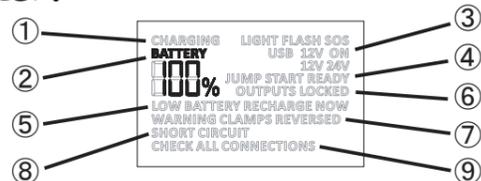
使用温度範囲：環境-20～60℃

バッテリー：リン酸鉄リチウムイオン

※諸元は、使用方法や環境によって変化する為、性能を永年保証するものではありません。

ディスプレイ表示一覧

■ディスプレイに表示される案内です。ディスプレイの指示に従って操作してください。⑥～⑨はエラー表示なので特に注意してください。



①「CHARGING」

状態：充電中です。

②「BATTERY」「～%」

状態：充電量を表示しています。

③「USB 12V ON」

状態：USB出力 12V10A 出力が使用できます。

④「JUMP START READY」

状態：通電されスタートできます。

⑤「LOW BATTERY RECHARGE NOW」

状態：充電量が少なく直ぐに充電してください。

⑥「OUTPUTS LOCKED」

状態：異常を感知して本体がロックしています。

対策：短時間に連続スタートを行った時にロックします。バッテリークランプを車両から外し5分間放置しておけば、ロックは解除されます。頻繁にロックする時は、車両側に原因があると思われるので、使用を中止してください。

⑦「WARNING CLAMPS REVERSED」

状態：プラス、マイナスを逆に接続しショートしています。警告音と共に逆接警告LEDも点灯します。

対策：直ぐにクランプを車両から取り外し本体の使用を控え販売店にご相談ください。※詳細は危険をご覧ください。

⑧「SHORT CIRCUIT」

状態：異常な電気がながれ通電を止めています。

対策：クランプを車両から取り外し車両側の異常な電気の流れを調べてください。またACC ON時に接続してしまった時も表示されます。

⑨「CHECK ALL CONNECTIONS」

状態：接続エラーです。

対策：クランプを車両から取り外し接続を見直してください。

自動電圧認識と電流について

■このジャンプスターターは各電圧やエラーをバッテリーへ接続時に自動で認識してくれます。以下の内容になりますので必ず確認してから操作を行ってください。

●車両のバッテリーが18V以上は24Vと自動で認識機し「24V JUMP START READY」と表示され24V電流が自動で流れます。

●車両のバッテリーが18V以下9V以上は12Vと自動で認識機し「12V JUMP START READY」と表示され12V電流が自動で流れます。24V車の場合も同様ですのでご注意下さい。

●車両のバッテリーが9V以下2V以上は12Vと自動で認識機し「12V」が点滅しお知らせしてくれます。24V車の場合も同様ですのでご注意下さい。

●2V以上で強制出力していない時クランプのプラス/マイナス逆接時に音とLEDで警告してくれます。

●車両のバッテリーが2V以下の場合自動で判断して出来ないの注意してください。プラス/マイナスの逆接も判断できません。

■操作は必ず最初にクランプを車両のバッテリーに繋いでから行なってください。

●プラスマイナスのクランプを車両のバッテリーへ繋ぐ事で逆接による破損を大幅に無くしてくれます。またバッテリーに接続する前に強制的に出力する事もおやめください。安全装置によるお知らせが無効になる為、本体を破損させてしまいます。



操作は必ずプラス/マイナスクランプを車両のバッテリーに接続してから手順どおりに行ってください。

技術的なお問い合わせ

使用方法で分から無い時や修理のご依頼は下記にご連絡下さい。

平日(土日祝、年末年始、お盆は対応していません)
受付時間 10時～12時、13時～15時、16時～17時
株式会社ハチハチハウス 048-489-1888

お手入れと保管方法

■保管するときはなるべく満充電の状態でご保管してください。保管後も3ヶ月に一度は満充電にして保管してください。

■保管するときはバッテリークランプをクランプバーにはさんだ状態で保管してください。

■本体が汚れたら固く絞ったタオルで軽く拭くようにしてください。

ご注意ください！危険

■以下の内容で使用した場合は本体が破損し死亡または障害が起こる事があります。十分に注意して取り扱いを行ってください。また以下の内容での故障は保証が受けられませんのでご了承ください。

危険

高温環境下での保管(車内保管等)は、絶対に行わないでください。

※製品を水、湿気、熱、湯気、ほこり、油等の多い場所や高温環境下に保管すると火災、感電、故障の原因になり、器物等が破損し、重大な障害、または死亡する可能性があります。上記の場所での保管は絶対に行わないでください。

●バッテリー残量が60%を下回っている場合はエンジンをスタートさせないでください。60%でスタートさせ電池の容量が更に40%を切ると電圧が急激に上がり電池が異常に熱くなり、本体が破損します。

※高温で破損した場合の保証は出来ませんので、ご了承ください

※40%までのスタートはカバーしていますが下回ってしまうと必ず故障します。余裕をみて60%以上でスタートしてください。

●バッテリークランプをバッテリーの端子に挟むときは面積を大きく取ってください。

※面積を大きくとらなかつたり板のような部分に挟むとバッテリークランプが熱を持った火花が出たりし必ずバッテリークランプが変形します。バッテリークランプの変形や溶けに関しては保証できませんので、ご注意ください。

※クランプが変形するような使用をした場合は本体内部の電子部品が壊れたり電池が消耗する場合があります。保証対象外になります。

●バッテリークランプの+-の逆接続、バッテリークランプの接触は絶対に行わないでください。

※逆接続は必ず故障するので絶対に行わないでください。

※+-の逆接を行うと安全装置が働き「WARNING CLAMPS REVERSED」が表示され安全は確保されますが機器の故障を排除するものではありません。

※逆接した場合は放置せずすぐにクランプを外して下さい。そのまま放置すると爆発するので迅速に対応してください。※逆接を行った場合本体が破損している可能性があり危険なので再使用せず弊社へ修理に出すか製品を破棄して下さい。

●ジャンプでエンジンスタートさせる時のセルの長回しは、行わないでください。セルを回す時は、長くて3秒以内でやめ、60秒程本体を休ませてから、再度セルを回すように心掛けてください。

●セルの長回しを行うと、必ず本体が膨らみます。

※セルの長回しを連続で行うと電池が熱を持ち必ず本体が膨らみます。また熱で回路を破損させてしまいます。この症状に関しては、原因が分かっているため保証できませんので、ご注意ください。特に夏場のセルの長回しは必ず本体が膨らむ為ご注意ください。

●連続で3回セルを回してエンジンがスタートしない時は、使用を中止してください。

※3回でエンジンがスタートしないときは、車両側に原因があると考えられます。車両側に原因がある状態で使用し続けると、本体が破損します。

●本体が発熱している時の連続使用は行わないでください。様子を見ながら本体が十分に冷えたのを確認し使用してください。

※連続で使用すると異常発熱が起こり本体が膨らんだり破損したりします。

●スタート時にバッテリークランプを接続したままエンジンの空吹かしを行うと電流が本体に流れて異常発熱する可能性があるため絶対に行わないでください。

※異常発熱による破損、ボディーの溶け、膨らみは保証できませんので、ご注意ください。

●エンジンをスタートした状態でジャンプスターターをバッテリーに接続したまま使用を続けしないでください。また走行もしないでください。

※接続したままにすると大きな電流が本体に流れるため安全装置が破損しバッテリーが熱を持ち火災が起る可能性があります。

※接続したままに走行するとバッテリークランプが振動で火災が起ります。

●消耗しきっている車両のバッテリー(死んだバッテリー)に接続すると本体の電池の寿命が短くなる時があります。

※消耗しきっているバッテリーに接続すると本体の電気が車両のバッテリーへ急激にながれ本体が熱くなり製品の寿命が短くなります。また安全装置が働き作動しなくなる事もあります。

※仕事で消耗しきっているバッテリーへの接続が多い作業は確実に寿命は短くなります。

●その他の注意

○湿気や水がある場所での使用は避けてください。

○電池の改造、解体をしないでください。

○子供が触らない所に置いてください。

○製品を焼却炉に入れて燃やさない様に注意してください。

○製品に付属する充電器以外で充電しないでください。

○充電中の室内温度は0～40℃以内を守ってください。

○充電中に異常や故障かなと思ったら、販売店に連絡してください。

○製品の液体が目に入った時は、直ぐに水で洗って医者に相談してください。

○充電中や放置中に、製品が熱くなったり色が変わったりした時は、使用を中止して下さい。液体の漏れ、煙の発生、火災になる可能性があります。

○充電中は製品を燃えやすい物の上に置かないで下さい。(ベッドやタオル等)

○保証を受けるときは、この保証書が無いと受けられませんのでご注意ください。

故障かなと思ったら

- ジャンプさせたら電源が入らなくなった
- ジャンプスタートさせると外気温や使用方法によって急激に電圧降下が起こり、本体の保護回路が働き、電源が入らなくなる時があります。5分ほどの放置または再充電を行うことで解除させることができます。故障ではありません。
- 1年近く使用しジャンプの回数が減り弱くなった。
- 始動可能排気量や回数は新品のデータによる目安です。電池は使用頻度や環境により劣化していきますので、これを永年保証するものではない為、故障ではありません。
- 3～4年保管後、使用したらジャンプが弱い。
- 充電をせずに放置したり、環境により、使用しなくても電池には寿命がある為、故障ではありません。

保証対象外のケース

- 充電に関して下記の故障は保証対象外となります。
- ケーブルに足が引っ掛からない場所を選んで充電を行って下さい。ケーブルの急な引っ張りによる充電口の破損は保証対象外です。
- 充電中に倒すと充電口が破損します。充電口の破損は保証対象外です。
- クランプの破損は保証対象外となります。
- クランプが変形するような使用は本体内部が故障してしまうことがあります。クランプの変形、焦げ、溶けによる本体内部の部品の破損、バッテリーの破損は保証対象外となります。
- クランプをはさむ時は面積を大きくとらないと発熱しクランプが溶けたり焦げたりすることがあります。このような場合も保証対象外となります。



クランプの爪の焦げ
※保証対象外



クランプが溶け爪が奥へ
※保証対象外

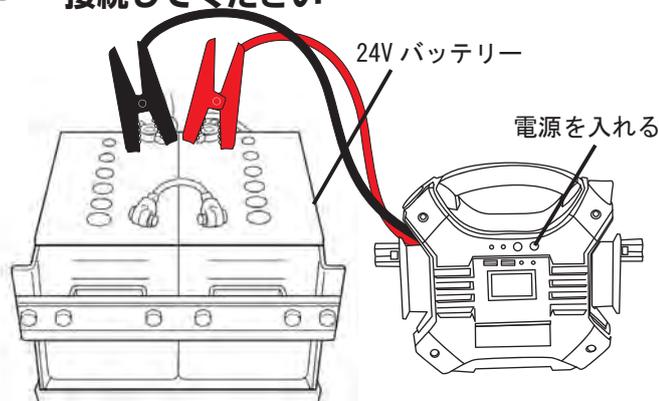
販売元

株式会社ハチハチハウス

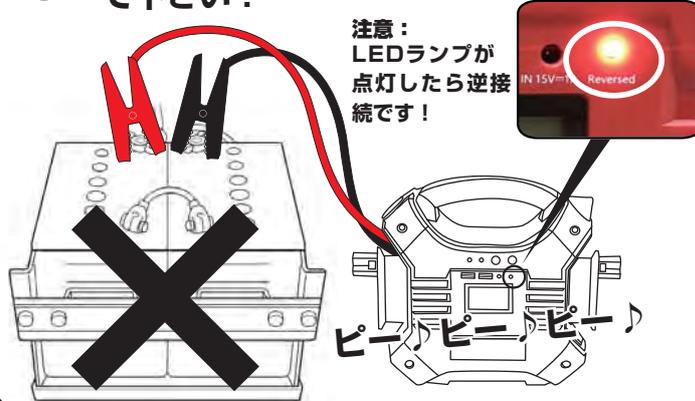
〒352-0017 埼玉県新座市菅沢 2-10-12

24V車、強制出力によるエンジンジャンプスタート方法！

① 本体の電源を入れ、プラス/マイナスを接続してください



② 音が鳴ったら逆接です。直ぐに繋ぎ変えて下さい！

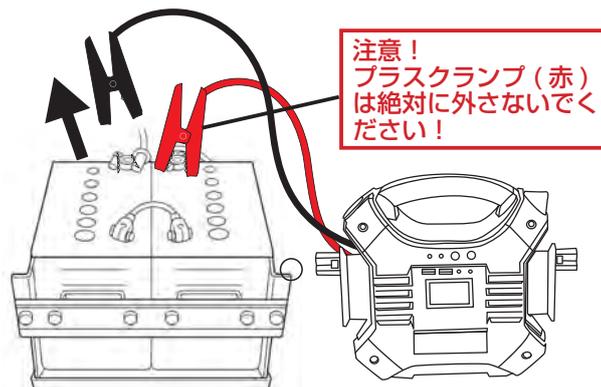


③ ディスプレイの表示内容が「12Vの点滅」「12VJUMP START READY」なら④の手順へ進んで下さい。



「12Vの点滅」「12VJUMP START READY」以外の表示は取扱説明書をご覧ください

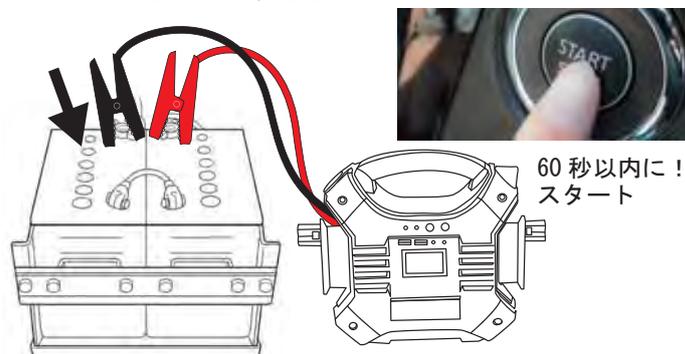
④ マイナスのクランプをバッテリーから外してください。



⑤ OverRideスイッチを1回押してから24Vスイッチを長押しして「24V JUMP START READY」を表示させてください



⑥ マイナスのクランプを再びバッテリーへ接続し60秒以内にエンジンをスタートさせてください。



お問い合わせ / 株式会社ハチハチハウス TEL:048-489-1888

プラス、マイナス逆接続を行なった際の強制出力による破損は保証を受けられません！

12Vでスタートさせるトラックもあるので注意してください。(例:ブルーテックキャンター、4P10エンジン搭載車)